

この度は、ポリゴンシールド®をお買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用前に、取扱説明書をよくお読みいただき、使用方法の確認をしてください。また、取扱説明書は大切に保管してください。

## 各部の機能

ポリゴンシールドは、防水透湿性の表面生地に新開発の立体構造保温素材・ファインポリゴン®を組み合わせ、濡れに非常に強い特長を備えた、全く新しいタイプのスリーピングシェルです。軽量スリーピングバッグとしてはもちろん、使い方を工夫することで超軽量ビビサックとして、また保温性向上効果に優れたスリーピングバッグカバーとしてなど、幅広い用途に使用が可能です。

### 【防虫ネット】

開口部から虫が入り込むのを抑え、快適性を高めます。

### 【樹脂製フレーム入りのひさし】

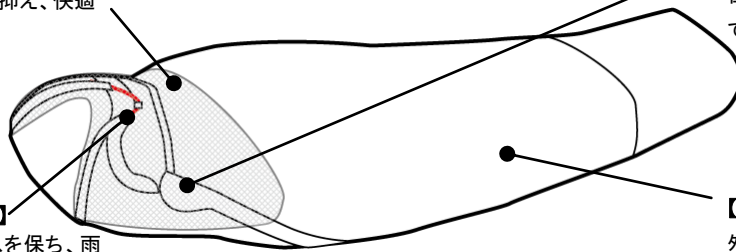
防虫ネットと顔のクリアランスを保ち、雨の吹き込みを抑える効果もあります。

### 【マグネットつきファスナーフラップ】

位置合わせを気にせず確実に閉じることができ、緊急時には素早い脱出も可能です。

### 【防水透湿生地+シームシーリング処理】

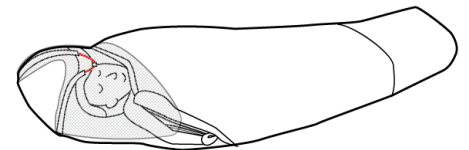
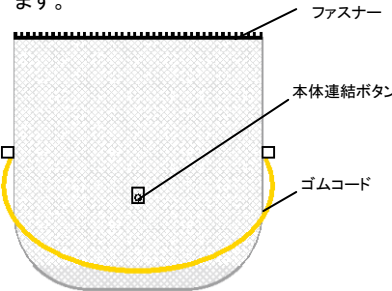
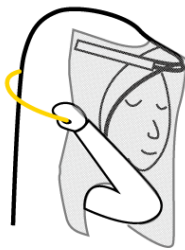
外からの雨や夜露を防ぎ、内部のムレを逃します。保温材の濡れも抑えます。



## 使用方法

### 防虫ネットの使用方法

- 座った状態で、防虫ネットをかぶり、本体とのフィット性を高めるゴムコードを後頭部に回します。サイドファスナーは、この段階では開けておきます。
- 防虫ネット中央部のボタン(本体連結ボタン)を、本体の開口部下側にあるボタンと連結します。
- 横になり、サイドファスナーおよびファスナーフラップを閉じます。

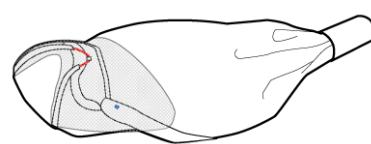
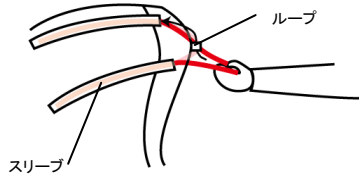


※ゴムの長さは、お好みに合わせて調整してください

### 防虫ネットの着脱方法

フレームと防虫ネットを外すことで、より軽量・コンパクトになります。

- 防虫ネットの着脱  
防虫ネットはファスナーで簡単に着脱が可能です。
- フレームの着脱  
スリーブから引抜いて取外しが可能です。取り付けの際はV字に曲げ、ひさしの先端のループを通してからスリーブに差し込みます。



### 収納方法

本体の収納時は丸めたり畳んだりせず、ボトム部分より順に空気を抜きながら収納袋に押し込むように入れてください。フレームをつけたまま収納する場合は、最後にフレーム部を円形に畳んで、収納することで、すっきりと収まり、フレームに折りグセが付きにくくなります。

- ボトムから順に押し込む
- フレームを円形に畳んで収納



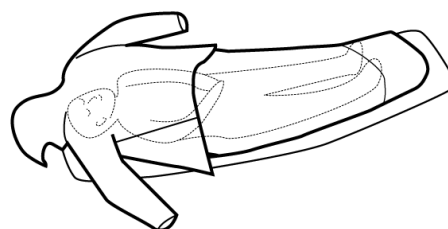
## 簡易シェルターとしての使用方法

まずは風雨を避けられ、雪崩や鉄砲水・落雷・落石等の危険性の少ない場所を選びます。雨天・降雪時等の場合、構造上顔部分への雨・雪等を完全に防ぐことはできませんので、ピコシェルター・ツェルト、雨具、シート類と併用したり座って使用することで、顔部分に直接雨がかかることを抑えることが可能です。

※岩壁や地面に直接接するような使用は、生地を傷めて漏水の原因となりますのでおやめください。必ずマット等を併用してください。

※長時間の雨や強い雨の場合は、直接雨がかからない工夫をしてください。

雨具を併用してビバーク



座って使用



## 活用例

### <ビビィサックとして>

沢登り、UL トレッキング、トレイルランニング等でテントを持たない軽快な装備でのビビィサックとしての使用もおススメです。軽量化を目的にする以外にも、積極的に星空の下での「ごろ寝スリーピングバッグ」として使用するのも楽しいものです。防虫ネットを併用することで、露天使用時の快適性を高めることができます。

### <スリーピングバッグカバーとして>

スリーピングバッグカバーとして、優れた性能を発揮します。一般的な3レイヤー生地のスリーピングバッグカバー並みの軽量コンパクト性を保ちながら、保温性の向上効果が高いことが特長。お手持ちのスリーピングバッグの保温力をワンランク上に進化させることができます。防虫ネットとフレームを取り外してさらに軽量コンパクトにすることも可能です。

### <非常用装備として>

厳しい非常時でもしっかりと睡眠を取れる装備を持つことは大きな安心感につながります。防水性と保温性を備え、きわめて軽量コンパクトに収納が可能のため、非常用のシェルターとして常時携帯することもおススメです。単体使用はもちろん、ツェルトと併用することで、安全性を高めることができます。

## 取扱いの注意点



- 焚き火、ストーブ、ランタンなどの火気や高温のものに近づけないでください。引火や生地を損傷する恐れがあります。
- 寝袋への出入りは十分にファスナーを開いて行ってください。ファスナーに過度の力が加わると、ファスナーや本体が破損する恐れがあります。
- ファスナー操作時は、生地をはさまないように十分ご注意ください。
- 開口部のファスナー開き止めフラップにマグネットを内蔵しています。磁気の影響を受ける機器を近づけないようご注意ください。
- 岩壁や地面に直接接するような使用は、生地を傷めて防水性を損なったり、製品の防水性能を越えて内部に浸水する恐れがあります。必ずマット等を併用してください。
- 長時間の雨や強い雨の場合は、製品の防水性能を越えて内部に浸水する恐れがあります。ツェルト等を併用するなど、製品本体に直接雨が当たらない工夫をしてください。

## お手入れ・保管方法

- 洗濯時は、フレームと防虫ネットを取り外してください。防虫ネットは洗濯ネットに入れ、洗濯機で洗濯ができます。
- 洗剤の選び方は、液体の洗濯洗剤でできる限り柔軟成分等の入っていないものを成分表示を参考にお選びください。比較的安価な洗濯洗剤は柔軟成分などが少ない傾向があります。なお、ふっくら仕上げ・柔らか仕上げ・撥水仕上げなど機能性をうたっているものは成分表示に記載がなくても柔軟成分が入っていますのでお避け下さい。台所用洗剤、ウェットスーツ用洗剤など目的の異なる洗剤は機能低下の原因となりますので使用しないでください。
- 本体は手洗いが可能です。水洗いでは、油や汚れを落とすことは困難ですので、洗濯洗剤をご使用いただくことをおすすめします。洗濯洗剤に記載された適切な濃度になるように、たっぷりの水に控えめの量の洗濯洗剤を入れて調整してください。揉み洗いは避けて押し洗いで行ってください。糸切れや圧着テープが剥がれる原因となりますので絶対に絞らないでください。洗剤や柔軟成分などが残留すると機能低下の原因となります。洗剤や柔軟成分の残留を防ぐため、すすぎを繰り返し十分に行ってください。すすぎは40℃程度のぬるま湯が効果的です。
- 乾燥は本体を裏返し、裏地を外側にして日陰の風通しのよい場所で、吊り干しをしてください。
- 脱水機、タンブラー乾燥は使用しないでください。
- 保管の際は十分に乾燥させた上で付属の収納袋に入れ、直射日光を避けて高温、多湿にならない場所で保管してください。

株式会社 **finetrack**

<http://www.finetrack.com> ☎ 0120-080-375